

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学研究事業）研究
障害児入所支援の質の向上を検証するための研究（研究代表者 北住映二）
分担研究報告書

障害児入所施設（福祉型および医療型）におけるソーシャルワーク担当職員についての調査

研究分担者 小山友里江
米山 明

ソーシャルワーク担当職員の配置状況とその業務内容や課題を明らかにするために、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設におけるソーシャルワーク担当職員を対象として、アンケート法による調査を実施した。

調査対象施設は、福祉型障害児入所施設として、1 知的障害児入所施設、2 視覚障害児入所施設、3 聴覚障害児入所施設、4 肢体不自由児入所施設、5 自閉症児入所施設を、医療型障害児入所施設として、6 主に肢体不自由児を入所させる施設、7 主に自閉症児を入所させる施設、8 主に重症心身障害児を入所させる施設、9 主として重症心身障害児を入所させる国立病院機構重症心身障害児者病棟を設定した。対象となった施設に、それぞれ施設票とソーシャルワーク担当職員用の個人票を送付した。

I. 施設調査票での調査結果

配布数は 492 施設で、返送数は 142 票、有効回答率は 28.9%であった。

表 1 施設の種別

	N
1 福・知的	44
2 福・視覚	2
3 福・聴覚	3
4 福・肢体	3
5 福・自閉	1
6 医・肢体	30
7 医・自閉	1
8 医・重症	45
9 国・重症	13

142 施設のうち、ソーシャルワークを担当する職員の職種は、表 2 の通りであった。

表 2 ソーシャルワークを担当する職種

N=142					
	N	%		N	%
施設長・管理者	9	6.3%	SW	23	16.2%
児童発達支援管理責任者	57	40.1%	医療 SW	12	8.5%
保育士	19	13.4%	職業指導員	0	0.0%
児童指導員	41	28.9%	医師(嘱託医を除く)	0	0.0%
理学療法士	0	0.0%	医師(嘱託医)	1	0.7%
作業療法士	0	0.0%	看護師	7	4.9%
言語聴覚士	0	0.0%	栄養士	0	0.0%
心理指導担当職員	4	2.8%	生活支援員	10	7.0%
PSW	2	1.4%	事務員	0	0.0%

142 施設のうち、ソーシャルワーク担当職員の所属している部署は、表 3 の通りであった。

表 3 ソーシャルワーク担当職員の所属している部署

N=142					
	N	%		N	%
支援課	15	10.6%	病棟	2	1.4%
療育指導室	12	8.5%	ケースワーカー	1	0.7%
地域医療連携室	11	7.7%	こども支援課	1	0.7%
相談課	9	6.3%	こども療育センター	1	0.7%
生活課	8	5.6%	医療社会事業課	1	0.7%
事務室	5	3.5%	管理職、サビ管、児童指導員、保育士	1	0.7%
福祉型障害児支援施設	5	3.5%	企画課	1	0.7%
医療連携室	4	2.8%	業務係	1	0.7%
育成課	4	2.8%	事務局相談支援課	1	0.7%
看護部	4	2.8%	児童支援係または自立支援係	1	0.7%
指導課	3	2.1%	児童棟	1	0.7%
障害児入所施設	3	2.1%	生活棟(女子棟)	1	0.7%
入所	3	2.1%	第一療育課育成係	1	0.7%
児童育成課	2	1.4%	発達支援課	1	0.7%
診療部診療課	2	1.4%	療育・発達支援課	1	0.7%
療育サービス課	1	0.7%			

142 施設のうち、病棟・生活棟に所属していると回答したのは、63 施設(44.4%)であった。

平成 28 年 6 月 1 日現在の入所児数の男女別平均値、SD、最少人数、最大人数は、表 4 の通りであった。

表 4 平成 28 年 6 月 1 日現在の入所児数

N=142				
	平均値	SD	最小値	最大値
男	19.3	13.6	0	220
女	11.9	8.7	0	183
計	31.0	21.9	1	403

ソーシャルワーク担当職員が担当している子どもの人数は、表 5 の通りであった。

表 5 ソーシャルワーク担当職員が担当している子どもの人数

N=142				
	平均値	SD	最小値	最大値
男	12.4	9.4	0	69
女	7.6	5.6	0	47
計	19.4	15.0	0	105

平成 28 年 6 月 1 日現在、ソーシャルワーク担当職員の人数は表 6 の通りであった。

表 6 ソーシャルワーク担当職員の人数 (平成 28 年 6 月 1 日現在)

N=142				
	平均値	SD	最小値	最大値
常勤 SW 業務専任 人数	2.0	1.9	0	28
常勤 他の業務との兼任 人数	2.4	2.1	0	34
非常勤 人数	0.4	0.7	0	8

常勤のうち、兼任している業務の内容は表 7 の通り、多岐にわたる業務を兼任していた。

表 7 常勤のうち、兼任している業務の内容

管理者・児童発達支援管理責任者	児童発達支援管理責任者、相談支援専門員、児童指導員
日常生活支援	児発管理専任者(保育士兼務)、看護師長、児童指導員(入所療育課長兼務)
ケアワーク	児発管業務(請求業務含む)、医療ソーシャルワーク

サービス管理(児童)責任者、家族会支援他	主任
サービス管理責任者、管理業務	常勤－直接支援業務従事者すべてが兼任している状況
サービス管理責任者・児童発達管理責任者	心理担当
園長	生活介護、余暇活動、保育、外出援助、グループ活動、就学援助、行動援護
園長・児童発達支援管理者・指導主任	生活指導又保育士又看護師
介助業務	生活支援員
外部コーディネーター職	生活支援員療育部長
外来業務・相談支援事業	生活支援全搬
外来診療相談等	相談支援専門員
看護師	相談支援班長
看護補助業務	短期入所、新規入所、実習受入れ窓口、ボラ
管理課長	短期入所、日中一時
管理業務	地域連携室、訪問看護(みなし)
居宅介護・放課後デイサービス	直接支援業務、請求業務
業務係長、保育士、児童指導員	入所園生(者)データ管理、外部からの研修受入れ、見学対応等。
支援担当課長	入所支援計画の作成、職業指導、医務通院等
施設管理	入所者支援、個別支援計画作成、相談業ム。
事務員	病院外来、児童発達支援センター、生活介護事業所のケースワーカー
心理判定	病棟支援
児童指導員・相談支援専門員	副園長(児童発達支援管理責任者)
児童発達管理責任者	副施設長1、児童発達支援管理責任者2
児童発達管理責任者、心理担当職員等。	保育士、児童指導員
児童発達支援管理者	保育士、療育支援員
児童発達支援管理責任者	療育支援員、保育士
児童発達支援管理責任者、看護師	療養介護のサービス管理責任者

非常勤職員の勤務日数は、表 8 の通りであった。

表 8 非常勤職員の勤務日数

N=142

	平均値	SD	最小値	最大値
A	4.6	0.7	2	5
B	5.0	0.0	5	5
C	5.0	0.0	5	5
D	5.0	0.0	5	5

II. ソーシャルワーク担当職員アンケート 個人票による調査の集計結果

ソーシャルワーク担当職員アンケート 個人票については、436 施設に 5 通ずつ配布し、担当している職員のうち調査に同意の得られた 275 名から回答を得た。275 名が所属している事業の種類の内訳は、表 9 の通りであった。

表 9 事業の種類別回答割合

	N
1 福・知的	95
2 福・視覚	1
3 福・聴覚	5
4 福・肢体	4
5 福・自閉	4
6 医・肢体	46
7 医・自閉	3
8 医・重心	101
9 国病・重心	16

ソーシャルワーク担当職員の利用者面接の対象・形態・頻度は、表 10 の通りであった。

表 10 直近の 1 年間で面談相談をした対象の延べ人数

N=275

	対象 本人	対象 保護者	対象 その他
のべ件数	4473.5	11413.6	6171
平均	28.0	57.9	92.1
SD	27.5	60.5	136.2
最小値	0	0	0
最大値	240	1632	2267

直近の 1 年間で面談相談をした形態の延べ人数は、表 11 の通りであった。

表 11 直近の 1 年間で面談相談をした形態の延べ人数

N=275

	個別面接	家族面接(本人同席)	家族面接(本人同席なし)
のべ件数	5873	4127	4914
平均	45.5	34.1	31.3
SD	48.0	41.7	27.9
最小値	0	0	0
最大値	912	900	357

表 12 利用者面接の頻度

N=259

	N	%
定期的	71	27.4%
不定期	58	22.4%
ニーズに応じて	157	60.6%
その他	4	1.5%

表 13_1 病棟、生活棟内で、SW 担当職員がかかわっている会議の形態・頻度

N=275

	ケース会議	ケース会議 回数/月	生活棟連絡会議	回数/月	臨時の検討会議	平均年回数	その他
のべ件数	211	496.4	151	327	136	980.4	45
平均	1.0	3.0	1.0	2.5	1.0	8.2	1.0
SD	0.0	2.3	0.0	2.2	0.0	6.7	0.0
最小値	1	0	1	0	1	0	1
最大値	1	25	1	20	1	100	1

表 13_2 行政（公的機関）などへの連絡や調整（児童相談所・成年後見人制度など）

N=275

のべ件数	2398
平均	14.8
SD	16.4
最小値	0
最大値	419

表 13_3 書類や記録の整理 「個別支援計画書」作成の補助

N=275

のべ件数	42
平均	2.1
SD	1.7
最小値	0
最大値	50

表 13_4 「個別支援計画書」作成の補助

N=275

	N	%
している	132	51.0%
していない	85	32.8%

表 13_5 地域支援（地域関係機関などとの会議開催・参加など）

N=275

	年間の対象人数	年間の平均頻度	地域自立支援協議会	要保護児童地域連絡協議会	その他 回数
のべ件数	2505.2	1329.8	416	98	34
平均	15.3	8.0	3.0	1.1	1.3
SD	19.6	8.0	4.5	1.5	1.8
最小値	0	0	0	0	0
最大値	960	100	136	32	10

その他の内容

- ・ グループホーム移行、医療型福祉施設移行
- ・ グループホーム入所における相談援助
- ・ フレンドホーム事業
- ・ 移行先への情報提供
- ・ 関係者とのケア会議で地域との連携作り
- ・ 児童の関係機関による相談援助
- ・ 進路に関する相談援助
- ・ 退所に向けての相談援助
- ・ 退所後の移行先訪問
- ・ 退所後の入所先施設職員との電話相談
- ・ 地域社会への移行
- ・ 連携医療機関への受診付添

表 14 家庭への退所に関する保護者等への支援

N=275

	N	%
1 保護者等に対する相談援助	93	35.9%
①施設内による相談援助	139	53.7%
②保護者宅訪問による相談援助	47	18.1%
2 児童等に対する相談援助	52	20.1%
①家庭復帰後における相談援助	66	25.5%
②継続的な相談援助	57	22.0%
3 委託後における相談援助	6	2.3%
4 その他	14	5.4%

表 15 支援を行った児童数

	(1)入所児童の家庭復帰のための保護者等に対する相談援助	(2)退所後の児童等に対する相談援助	(3)里親への委託後における相談援助	(4)その他
のべ件数	870	407	13	25
平均	5.6	3.6	0.2	0.6
SD	6.0	4.0	0.4	0.9
最小値	0	0	0	0
最大値	61	88	4	5

その他の業務

- ・ 入所利用者の入所前見学、説明、入退所手続き、受給者証の発行手続き等事務処理全般
- ・ 施設内の担当職員（医師、リハビリスタッフ、栄養士、歯科衛生士等）との情報共有、連絡、調整
- ・ 施設内人材育成（OJT、OFF・JT、内部研修企画、外部研修参加etc…）
- ・ 実習生の受け入れ対応、実習指導、講義
- ・ ボランティア受け入れ対応、指導
- ・ 学校や関係機関（市町村、児童相談所、相談支援事業所、相談支援センター、職業安定所、成年後見

- 人、病院、地域協議会など）との連絡、連携、調整（入退所調整等）
- ・外来利用者への支援、外来相談業務（受診予約含む）
- ・利用者への直接生活支援（買物訓練・自立交通機関使用支援含む）
- ・個別ケース会議（特に強度行動障害児童ケース会議）計画作成、実施、記録、会議録の確認及び整理
- ・利用者のアセスメント、個別支援計画（児相、保ゴ者の対応、面談、病院のケース会ギ等も含む）・実施、モニタリング、評価
- ・家庭訪問
- ・退所者のアフターフォロー
- ・各種相談支援（含む電話対応、入所希望、家族支援、虐待防止指導、苦情対応等）
- ・各種書類手続等
- ・調査資料の作成
- ・各委員会への参加。
- ・各種アンケート調査記入
- ・児童発達支援管理責任者
- ・月報、及び入退所報告
- ・障害福祉サービス利用調整（手帳申請、補装具、補助など）
- ・管理業務（入退所調整、ベッドコントロール、安全管理、病棟内環境整備、営繕等（最近は防犯も）、車両管理、入所者預金管理、受給者証管理（更新等案内）郵便物管理、運営、計画推進、サービス管理責任者業務、勤務調整等）
- ・施設内行事企画・運営・実施
- ・移行支援
- ・地域関係提出書類作成（事故報告書作成等）
- ・職場内の雑務・他職種のフォロー
- ・性教育
- ・緊急受入等の相談・日中一時受入れ業務（相談窓口、病棟との調整）
- ・夜勤業務
- ・保健全搬
- ・入所児の保育・入所児童の学習支援・措置入所児童の衣類等の購入、管理（紙オムツ等生活用品の注文・管理）
- ・肢体不自由児地域リハビリテーション支援事業反省会
- ・外来業務：初診受付（聞きとり、カンファレンス、予）、診断書（予受付、内容確認、訂正等役所とのやりとり）福祉サービスの情報提供、カルテ開示対応、病院報告、短期入所（受付、会ギ調整）障害児等療育支援事業（案内、調整、月末まとめ、県への報告）
- ・事業申請・変更手続き
- ・高等部、入学の為の支度に関する相談。
- ・児童相談所や市町の福祉課 保護者との連携、サポート 職場体験の送迎調整や送迎 職場体験の挨拶、反省会出席
- ・地域連携室・地域相談室業務
- ・家族会への協力・支援
- ・広報活動（しんぶん、ホームページ、パンフレット）
- ・療養介護事業・通所事業の相談全般

SW 専攻の学生等を対象とした臨床実習や見学実習の担当の有無

表 16 臨床実習や見学実習の担当の有無

N=275		
	N	%
担当している	45	17.4%
自分にはしていない	80	30.9%
部署として担当していない	119	45.9%

表 17 臨床実習や見学実習の担当の頻度

	年間日数
のべ件数	1308
平均	31.9
SD	21.8
最小値	0
最大値	100

表 18 他職種を対象とした臨床実習や見学実習を担当の有無

N=275

	N	%
担当している	66	25.5%
自分は担当していない	114	44.0%
部署として担当していない	64	24.7%

表 19 他職種を対象とした臨床実習や見学実習を担当の頻度

	年間日数
のべ件数	1308
平均	31.9
SD	21.8
最小値	0
最大値	100

表 20 病棟、生活棟業務以外に外来業務も担当の有無（医療型障害児入所施設のみ）

N=275

	N	%
している	62	23.9%
していない	88	34.0%

表 21 「している」場合、週あたりの生活棟と外来にあてる時間の割合

	生活棟 割合	外来 割合
平均	7	9
SD	4.9	7.2
最小値	3.6	5.4
最大値	0	0.5

表 22 SW 業務以外の実務

N=275

	N	%
ある	193	74.5%
教育	41	15.8%
管理業務	88	34.0%
サービス計画書記載	62	23.9%
その他	86	33.2%
ない	46	17.8%

- ・ ケアワーク、療育活動
- ・ サービス等利用計画、短期入所担当
- ・ 委員会司会
- ・ 医師診断書作成補助
- ・ 通所事業所昼食介助
- ・ 事務補助

- ・ 医療物品管理
- ・ 園内作業所運営
- ・ 各種会議への参加
- ・ 学校訪問
- ・ 環境整備
- ・ 看護学校、大学の講師
- ・ 看護業務
- ・ ヒヤリハットアクシデントレポート評化
- ・ 求人関係
- ・ 苦情受付、サービス管理責任者、入退所の手続、外来受診の調整 地域療育支援の窓口、タイムケアの請求、ショートステイの調整
- ・ 苦情等解決委員会、地域支援事業、病床利用調整会議等事業の事務局および入所契書作成から契に至る事務手続
- ・ 現場支援
- ・ 個別支援計画書作成、管理
- ・ 公開講座担当（施設主催）地域支援施設の利用調整
- ・ 広報業務、契業務
- ・ 行事対応
- ・ 行事付き添い
- ・ 行政一般事務（課に関する事務）
- ・ 国保連請求業務
- ・ 雑用
- ・ 指導員業務、外来受付、地域連携として会議・研修企画実施
- ・ 支援
- ・ 施設運営管理
- ・ 施設見学（来訪者）
- ・ 施設内各種委員会への出席
- ・ 事業手続き（申請更新）・広報・文書様式作成
- ・ 児童の生活支援・学習支援
- ・ 実習指導（保育士、介護福祉士）
- ・ 障がい児等地域療育等支援事業
- ・ 職場内の雑務
- ・ 心理業務
- ・ 生活介助
- ・ 生活支援業務
- ・ 生活棟への補助的な勤務 個別的な対応が必要な利用者への対応 送迎・別事業（日中一時・放デイ・短期入所）への補助的な勤務など
- ・ 請求業務（短期入所、日中一時支援予を含む）
- ・ 請求業務、入所契業務、ボランティア受入、通信発行業務、短期入所受入（契約、調整、請求全般）、サービス等利用計画作成、モニタリング
- ・ 請求等
- ・ 相談支援
- ・ 相談支援専門員との兼務
- ・ 装具診察のつきそい
- ・ 送迎（通院、短期入所
- ・ 短期入所受入、広報誌
- ・ 知的障がい児入所施設の保育士業務
- ・ 直接支援
- ・ 直接処遇
- ・ 直接処遇業務の支援、補助
- ・ 通院引率
- ・ 同法人MSW、相談支援（障がい児、計画相談）
- ・ 日常生活介護・療育活動
- ・ 日常生活支援
- ・ 入院関係書類準備、短期入所実績記録管理 各種調査等取りまとめ、入所調整
- ・ 入園に関する業務
- ・ 入園時の契、学童保育、施設行事
- ・ 入所児童の介助、指導
- ・ 入所児童の生活援助
- ・ 入所者のデータ管理、車椅子補装具等の手続き研修生受け入れ
- ・ 入所者の生活に関する業務・事務一般
- ・ 部署の担当の役割業務例えば、ボランティア担当、研修委員など
- ・ 福祉サービス利用に係る事務手続支援、支援会議の調整
- ・ 利用者の直接支援
- ・ 利用者病院送迎
- ・ 療育

表 23 病棟、生活棟で、生活支援者と同様の介助業務の要請の有無（複数回答可）

N=275

	N	%
なし	102	39.4%
食事	119	45.9%
排泄	105	40.5%
着替え	104	40.2%
外出同伴	105	40.5%
入浴	100	38.6%
その他	38	14.7%

- ・ 移乗介助
- ・ 介助業務も主務として行っている。
- ・ 各病棟での食事援助
- ・ 学校との調整
- ・ 学校送迎
- ・ 泊まり勤務
- ・ 学習指導 生活指導。
- ・ 見守り
- ・ 施設見学等
- ・ 児童面接
- ・ 時々あり
- ・ 受診付添いなど
- ・ 就寝介助
- ・ 装具診察・判定のつきそい
- ・ 送迎
- ・ 通院
- ・ 登下校
- ・ 登下校支援
- ・ 日中活動支援
- ・ 必要に応じて介入。
- ・ 病院受診の送迎
- ・ 病院受診の付き添い
- ・ 病院受診配車業務等
- ・ 夜勤業務
- ・ 遊び
- ・ 余暇

表 24 要請されていないものの、自主的に行っている（行っていた）ものの有無（複数回答可）

N=275

	N	%
なし	119	45.9%
食事	58	22.4%
排泄	50	19.3%
着替え	47	18.1%
外出同伴	50	19.3%
入浴	32	12.4%
その他	27	10.4%

- ・ おやつ介助、P C 指導
- ・ 移乗介助
- ・ 園内装飾・制作系
- ・ 家族での外出同伴
- ・ 会議録清書
- ・ 外出、行事
- ・ 学校送迎
- ・ 活動補助
- ・ 環境整備
- ・ 見守り
- ・ 行事 介助
- ・ 行事の付添い。
- ・ 車イスの点検
- ・ 手洗い介助
- ・ 受診付添いー措置ケース
- ・ 状況により関わる場面あり
- ・ 洗面、歯みがき
- ・ 通院
- ・ 通院への引率
- ・ 登下校時補助
- ・ 余暇活動
- ・ 日中のふれあい
- ・ 日中活動
- ・ 行事への参加
- ・ 余暇活動
- ・ 余暇活動
- ・ 余暇支援
- ・ 療育活動支援

表 25 ケース検討や勉強会など、スキルアップのための時間の有無

N=275

	N	%
勤務時間外にある	59	22.8%
ない	27	10.4%

表 26 書類業務の内容（複数回答可）

N=275

	N	%
ケース会議資料	182	70.3%
年度のまとめ	145	56.0%
面接記録	181	69.9%
児童相談所への報告書作成	106	40.9%
その他	97	37.5%

- ・ カンファレンス内容の記録まとめ、外出計画立案
- ・ ケース記録
- ・ サービス支援経過報告書等の記入
- ・ サービス等利用計画、障害児支援計画の作成
- ・ ショートステイ希望まとめ、実績作成
- ・ データの整理、作成、短期入所の入退所記録
- ・ バス遠足・ボランティア等起案書
- ・ 委員会の会議録作成
- ・ 院外療育、年間行事の資資作成
- ・ 家族とのやりとりの経過記録
- ・ 会議の記録、個別支援計画の作成、モニタリング、評価
- ・ 実績記録票の作成
- ・ 会議報告書作成
- ・ 外部からの連絡・個別支援計画作成会議録・モニタリング
- ・ 各委員会の会議録作成利用者金銭入出金 プールの管理 e t c .
- ・ 各行事、委員会の調整、役割分担関係書類、職員研修（法人内）関係書類、監査関係、調査関係等
- ・ 各児童のケース記録の入力 個別支援計画のモニタリング、作成
- ・ 各種制度・手続き資料の作成、各種会ギ資料記録
- ・ 各種調査資料作成
- ・ 各種調査資料作成、請求業務全般、入退所手続き資料作成などなどインテーク（初回）資料作成短期入所資料作成選挙業務
- ・ 各種提出書類
- ・ 各種統計
- ・ 学校との連携、保護者との連携、新入所及び退所の方の資料作成等
- ・ 学校面談、連絡会記録、会議録
- ・ 活動記録、委員会報告書
- ・ 活動計画、研修の企画など
- ・ 勤務、研修会報告、各行事、監査関係、委員会の調整
- ・ 勤務、研修会報告、監査関係、各行事、委員会の調整
- ・ 勤務表
- ・ 苦情、要望、調査、各記録
- ・ 苦情等解決委員会回答書の掲示等
- ・ 計画書打込、短期入所実績作成、議示録作成他
- ・ 計画相談
- ・ 個人情報管理、各種アンケート作成
- ・ 個別支援計画
- ・ サービス提供実績記録票、県への月例報告書、会議資料、研修・実習資料 家族へのお知らせ
- ・ 各種報告書
- ・ 保険証・福祉サービス受給者証等の家族連絡及び期限管理
- ・ 個別支援計画作成
- ・ 個別支援計画作成、各種会議資料作成
- ・ 個別支援計画書
- ・ 個別支援計画書作成、契書、重要事項説明書の見直し、会議前の資料作成 他部署、病棟から依頼された資料の作成、家族・後見人への手紙、資料の作成 入所者への郵便物のとりあつかい
- ・ 行事等の起案作成
- ・ 行政への資料作成（提出）
- ・ 在宅サービス請求業ム
- ・ 市町村への報告、保健福祉事務所への報告、各病院への受診のための連絡、短期入所委員会資料、意見書や情報提供書の準備、入所契や短期入所等契事務
- ・ 指導員保育士日誌 サービス支援経過報告書
- ・ 支援計画作成、進路引継業務、医療機関との連携

- ・ 支援計画書作成、モニタリング・記録の作成、個人記録、就学に関する行政への提出書類作成 重心
- ・ 医療費助成申請書作成
- ・ 施設利用の状況（年度のまとめ）、入所児数の報告（児童相談所）、短期入所・日中一時支援の契事務
- ・ 事業所内の担当業務の資料作成
- ・ 事故報告書、個別支援計画、モニタリング、県への報告書類、その他多数
- ・ 事務的な書類の対応学校からの書類の対応
- ・ 児相からの調査依頼への回答、行政書類手続き
- ・ 児童の職場実習に関する資料
- ・ 児童相談所などへの連絡資料、調査、職員会議資料など
- ・ 児童統計、アンケート報告
- ・ 実習生の記録の記入物品購入の処理
- ・ 実績、申請、金銭等
- ・ 諸々の会議報告
- ・ 障害児等療育支援事業まとめ、病院報告、初診受けつけ、診断書確認等
- ・ 障害福祉サービス受給者証申請家族会案内・報告実践発表会案内夏まつり案内 限度額認定申請
- ・ 申請書類
- ・ 生活支援全搬
- ・ 請求
- ・ 請求実績となる資料作成
- ・ 全ての書類の確認・整理
- ・ 短期入所、日中一時支援の予申込書確認
- ・ 短期入所にかかわる書類、記録、請求書、データ作成
- ・ 短期入所の事ム連絡票 短期入所の報告書（四半期）
- ・ 短期入所関連資料作成、新規利用希望者プロフィール作成
- ・ 短期入所者の情報作成、会議資料作成
- ・ 短期入所伝票
- ・ 短期入所等サービス利用に際して利用する棟の責任者情報提供等入所
- ・ 短期入所等のスケジュール作成
- ・ 短期入所予定表、統計報告、おこづかい管理、勤務表作成等々
- ・ 地域移行計画書、個別の業務記録、ケース記録
- ・ 調査関係、見学・研修生対応
- ・ 統計、調査等、相談支援
- ・ 日誌・報告書の整理・保管、個人ケース記録の管理
- ・ 入所支援計画作成
- ・ 補装具の書類作成、各種請求 苦情受付のまとめ、各種証明書
- ・ 補装具書類・アンケート・データ作成・受診時必要書類
- ・ 補装具申請書作成等
- ・ 毎日の行動記録入力、帰省時保護者宛文書作成、実習計画起案、実施訪問記録 学籍児毎月の学校連絡帳の記入 学期毎の保護者への通信せん文書発行 他多数
- ・ 養護学校実習関係資料他
- ・ 療養介護者の更新の手続き

表 27 書類業務に要する時間は、全体の業務のどのくらいか

平均	46.5
SD	18.4
最小値	5
最大値	95

表 28 勤務時間内で業務が終了するか

N=275

	N	%
終了する	65	25.1%
終了しない	190	73.4%

表 29 超過勤務の月あたり時間

平均	20.3
SD	14.9
最小値	0
最大値	120

表 30 持ち帰り

N=275

	N	%
ある	41	15.8%
ない	131	50.6%
書類の持ち出しが不可能	83	32.0%

表 31 持ち帰り 月あたり時間

平均	12.8
SD	10.9
最小値	1
最大値	100

表 32 実際に行えていないものの、時間があれば取り組みたい業務内容

N=275

	N	%
ある	102	39.4%
ない	93	35.9%

表 33 SW としての実務経験年数

N=275

	N	%
1 年目	36	13.9%
～5 年	79	30.5%
5～10 年	60	23.2%
10～15 年	39	15.1%
15～20 年	14	5.4%
20～25 年	5	1.9%
25 年以上	14	5.4%

表 34 現在の職場での経験年数

N=275

	N	%
1 年目	29	11.2%
～5 年	60	23.2%
5～10 年	51	19.7%
10～15 年	41	15.8%
15～20 年	22	8.5%
20～25 年	15	5.8%
25 年以上	38	14.7%

表 35 これまでに経験した、SW 以外の職種

- ・ DV相談員
- ・ MSW
- ・ PSW
- ・ ケアマネ
- ・ ケースワーカー
- ・ サービス管理責任者
- ・ ジョブコーチ
- ・ スクールカウンセラー
- ・ スクールサポーター
- ・ デイサービス相談員
- ・ ホームヘルパー
- ・ 育成主任
- ・ 営業・介護現場
- ・ 衛生管理者
- ・ 課長
- ・ 介護員
- ・ 介護福祉士
- ・ 会計
- ・ 会社員
- ・ 看護技師
- ・ 看護師
- ・ 看護助手
- ・ 管理課長
- ・ 期限付養護学校教諭
- ・ 救護施設
- ・ 給与
- ・ 居宅ケアマネ
- ・ 作業支援員
- ・ 指導員
- ・ 指導係長
- ・ 支援員
- ・ 支援課長
- ・ 事務員
- ・ 事務員
- ・ 児童指導員（SW的業務含む）
- ・ 児童支援員
- ・ 児童自立支援専門員
- ・ 児童心理司
- ・ 児童精神科病院外来療育保育士
- ・ 児童発達管理責任者
- ・ 児童福祉司
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 社会福祉主事
- ・ 社協職員
- ・ 授産通所施設（生活支援員）
- ・ 就労支援員
- ・ 障害児・者相談支援センター
- ・ 障害者生活指導員
- ・ 障害分野ホームヘルパー
- ・ 職業指導員
- ・ 心理判定員
- ・ 心理療法士
- ・ 成人生活支援
- ・ 成人棟支援員
- ・ 生活介護の生活支援員
- ・ 生活支援員
- ・ 生活主任
- ・ 生活相談員
- ・ 生活保護事務
- ・ 精神保健福祉センター

- ・ 相談支援専門員
- ・ 総合病院
- ・ 総務事務員
- ・ 大学職員
- ・ 知的施設職員
- ・ 知的障がい児者施設支導員
- ・ 知的障害者入所施設指導員
- ・ 地域福祉専門員
- ・ 地域療育コーディネーター
- ・ 直接介助
- ・ 同主任 室長
- ・ 特別支援学校教諭
- ・ 入退所業務担当
- ・ 発達障害者支援センター支援員
- ・ 販売員
- ・ 非常勤公務員
- ・ 福祉指導員
- ・ 福祉事務所CW
- ・ 保育士
- ・ 保健師
- ・ 放課後デイサービス
- ・ 民間企業
- ・ 養老老人ホーム運営
- ・ 寮母
- ・ 療養介護事業所
- ・ 老人ホーム生活相談員

表 36 資格（複数選択可）

N=275

	N	%
福祉関係		
社会福祉士	98	37.8%
精神保健福祉士	25	9.7%
保育士	61	23.6%
その他	118	45.6%
心理関係		
臨床心理士	1	0.4%
臨床発達心理士	0	0.0%
学校心理士	1	0.4%
教員免許関係		
幼稚園	34	13.1%
小学校	19	7.3%
中学・高校	34	13.1%
養護学校教諭	20	7.7%
医療関係		
医師	0	0.0%
看護師	8	3.1%
理学療法士	0	0.0%
作業療法士	0	0.0%
言語聴覚士	1	0.4%
その他	5	1.9%

現在の職場について

表 37 現在の職場に入った経緯

N=275

	N	%
希望による入職	145	56.0%
希望による異動	26	10.0%
希望によらない異動	65	25.1%
希望した機関で配属	11	4.2%
その他	7	2.7%

表 38 入職・異動に当たり、何らかの条件があったか

N=275

	N	%
ない	160	61.8%
あった	90	34.7%
資格	83	32.0%
経験年数	15	5.8%
諸検査の習熟	0	0.0%
その他	7	2.7%

実務経験

大学卒業（学位）
病院で働いた経験値

福祉・心理職場での経験年数
福祉系学校卒業

福祉系大学卒業（見込）

表 39 現在の就業形態

N=275		
	N	%
常勤	250	96.5%
非常勤	4	1.5%
臨時職員等	2	0.8%

表 40 非常勤（週 日）

	週あたり日数
のべ日数	19
平均	3.2
SD	1.5
最小値	1
最大値	5

表 41 現在の職場以外に勤務している場の有無

N=275		
	N	%
ない	242	93.4%
ある	12	4.6%
療育機関	0	0.0%
病院	4	1.5%
大学職	3	1.2%
保健センター	0	0.0%
地域機関巡回相談	0	0.0%
スクールカウンセラー	0	0.0%
スクール SW	0	0.0%
教育相談所	0	0.0%
その他	5	1.9%

その他内容

- ・ ボランティアは有、勤務ではない。
- ・ 一般企業
- ・ 認知症対応グループホーム
- ・ 保育所

表 42 現在の職場の超過勤務の手当の有無

N=275		
	N	%
ある	172	66.4%
あるが上限がある	45	17.4%
ない	38	14.7%

表 43 現在の職場の賞与の有無

N=275		
	N	%
ある	256	98.8%
ない	1	0.4%

表 44 現在の職場の学会参加の扱い（複数回答可）

N=275		
	N	%
公費出張可能	28	10.8%
年あたり回数	13	5.0%
有給休暇で私費で参加	28	10.8%
休暇で私費で参加	25	9.7%
上司が認めた場合は公費出張	166	64.1%
出張扱いで私費で参加	4	1.5%
その他	13	5.0%

その他内容

- ・ 希望された場合公費可能
- ・ 勤務状況の関係で私費参加も厳しい：1人しかSWがいないため。
- ・ 施設が認めた場合は公費出張。
- ・ 年休で、部内会費使用での出張

表 45 研修会等の参加の扱い

	N=275	
	N	%
公費出張可能	28	10.8%
年あたり回数	13	5.0%
有給休暇で私費で参加	28	10.8%
休暇で私費で参加	25	9.7%
上司が認めた場合は公費出張	166	64.1%
出張扱いで私費で参加	4	1.5%
その他	13	5.0%

年あたり	
のべ日数	43
平均	2.0
SD	1.2
最小値	1
最大値	10

表 46 研修会等の参加状況

	N=275	
	N	%
公費出張可能	48	18.5%
有給休暇で私費で参加	43	16.6%
休暇で私費で参加	29	11.2%
上司が認めた場合は公費出張	29	11.2%
出張扱いで私費で参加	196	75.7%
その他	6	2.3%

臨床、学術研究の実施状況

過去 5 年間の回数 のべ 77 回

主な研究テーマ

- ・ 当院と県内の公法人立を含めた重症心身障害児者関係施設の実態調査に関する報告
- ・ 有償実習の実施について
- ・ 障害医療における医療倫理
- ・ 短期入所について
- ・ 重症児者の家族支援について
- ・ 超重症児者病棟への配属による、生活支援員、保育士の意識調査。
- ・ レッシュナイハン症候群の児童への関わり
- ・ 性的虐待を受けた児童の支援。
- ・ 「外出について」
- ・ SWの窓口相談
- ・ デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の認知機能に関する検討（第3報）
- ・ 異食行動に関する研究
- ・ 学生ボランティアとの療育活動の内容報告
- ・ 活動支援について
- ・ 関わりに対して緊張を生じがちな超重症者への療育に取り組んで
- ・ 個別支援計画
- ・ 糸賀一雄の思想研究
- ・ 重症心身障害虐待防止委員会活動を通して
- ・ 重症心身障害児者のターミナルケアについて。
- ・ 重度障害の生活介ゴの取り組みについて
- ・ 成年後見人が医療行為に同意する問題における改善への提案
- ・ 退所児の動向
- ・ 第三者後見人による医療同意について（療養カイゴ）
- ・ 短期入所の実績報告と課題について
- ・ 知的障害児施設における地域移行
- ・ 超重症児への支援について

- ・ 日本子ども虐待医学会学術集会
- ・ 認知訓練
- ・ 発達障がいを持った子どもへの支援
- ・ 有期、有目的入所を利用しての在宅支援
- ・ 有償福祉サービスの周知による外泊状況の変化について
- ・ 利用者の支援について
- ・ 財産管理委任契の利用までの支援について
- ・ 受注作業の導入について
- ・ 障害者の経済的虐待
- ・ 相談支援事業について
- ・ 超重症児への療育支援について
- ・ 超重症児者への療育活動
- ・ 二分脊椎児に対する単独での外出・外泊への取り組み
- ・ 発達障害児童の支援

教育歴

表 47 最終学歴

N=275		
	N	%
大学卒業	158	61.0%
大学院修士課程修了	12	4.6%
大学院博士課程博士号取得	0	0.0%
専門学校	42	16.2%
専門学校 通学	22	8.5%
専門学校 通信	7	2.7%
その他	49	18.9%

その他内容

- ・ 短大卒業
- ・ 中学校卒業
- ・ 高等学校卒業
- ・ 精神薄弱児教育特別専攻科
- ・ 終了
- ・ 大学院修士課程中退

表 48 専門学校・大学等での専攻分野

N=275		
	N	%
心理関係	23	8.9%
教育関係	44	17.0%
福祉関係	143	55.2%
発達関係	5	1.9%
その他	45	17.4%

その他内容

- ・ 医療
- ・ 音楽
- ・ 家政学科
- ・ 看護
- ・ 教養科
- ・ 経学学部
- ・ 語学
- ・ 工業関係
- ・ 史学
- ・ 社会体育
- ・ 商学
- ・ 情報
- ・ 人文学部
- ・ 文化系
- ・ 保育士
- ・ 法律関係
- ・ 幼児教育
- ・ 理学系
- ・ 臨床検査
- ・ 歴史

表 49 専門学校・大学等で、「障害児」に関する知識や臨床実習等の直接体験の有無

N=275

	授業であった		個人的にあった		なかった	
①専門学校・大学等での「障害児」に関する知識や臨床実習等の直接体験	174	63.3%	80	29.1%	60	21.8%
②専門学校・大学等での「知的障害」に関する知識や臨床実習等の直接体験	173	62.9%	80	29.1%	59	21.5%
③専門学校・大学等での「発達障害」に関する知識や臨床実習等の直接体験	116	42.2%	53	19.3%	122	44.4%
④専門学校・大学等での「肢体不自由」や「重症心身障害」「視覚・聴覚障害」に関する知識や臨床実習等の直接体験	132	48.0%	62	22.5%	95	34.5%
⑤専門学校・大学等での医学用語や医療的ケアの知識に関して学ぶ機会	131	47.6%	21	7.6%	118	42.9%
⑥専門学校・大学等での「児童虐待」に関する知識や臨床実習等の直接体験	119	43.3%	27	9.8%	129	46.9%

職場環境について

表 50 入職・異動の際、前任者がいたか 表 51 「いた」場合、十分な内容伝達を受けられたか

N=275

	N	%
いた	224	81.5%
いない	42	15.3%

N=224

	N	%
十分だった	68	30.4%
十分ではないが手掛かりになった	131	58.5%
受けられなかった	20	8.9%

表 52 業務について相談できる人の有無 表 53 職場内のコミュニケーションのとりやすい医師の有無

N=224

	N	%
職場内にいる	243	88.4%
職場外にいる	71	25.8%
いない	8	2.9%

N=275

	N	%
いる	156	56.7%
いない	106	38.5%

表 54 病棟・生活棟のニーズにみあった業務時間配分ができているか

N=275

	N	%
業務時間配分 できている	89	32.4%
業務時間配分 できていない	82	29.8%
病棟・生活棟に属していない	91	33.1%

表 55 業務内容の優先順位など、自身の意向が反映されているか

N=275

	N	%
十分されている	41	14.9%
ある程度されている	160	58.2%
どちらともいえない	59	21.5%
されていない	7	2.5%

表 56 スタッフルームの整備の有無

N=275

専用デスク	232	84.4%	冷蔵庫	188	68.4%
専用ロッカー	211	76.7%	空調設備	238	86.5%
更衣室	195	70.9%	インターネット	227	82.5%
電話	224	81.5%	その他	15	5.5%

- ・ 電子レンジ
- ・ 他部署と兼用の部屋
- ・ 洗面台、来客用応接セット、食器棚、書架
- ・ 専用 PHS
- ・ 車輛
- ・ 個室
- ・ 業務用 PC の貸与
- ・ 給湯
- ・ ポット
- ・ トイレ
- ・ デスクは、管理者のみ
- ・ PHS
- ・ FAX

表 57 SW 面接室の整備の有無（複数回答可）

N=275		
	N	%
面接のねらいに応じて複数ある	61	22.2%
専用だが不足している	39	14.2%
他部署と兼用	122	44.4%
病棟の空間を利用している	54	19.6%
時間によって使えない時がある	59	21.5%
その他	15	5.5%

- ・ 会議室を使用
- ・ 空室利用
- ・ 小舎の建物のため専用スペースがない
- ・ 専用であるが、実際は病棟で聞くこと場を設けることが多い
- ・ 専用に整備されている
- ・ 病棟ではカンファンスルームなど利用
- ・ 複数の相談があった時は、他の部屋を使用
- ・ 面接室と事務業務の場所が分かれていない
- ・ 面談室を兼用または児童居室を使用
- ・ 療育指導棟や、カンファレンスルーム、家族面会室を使用している。

表 58_1 検査用具や遊具の有無

N=275		
	N	%
ない	137	49.8%
ある	94	34.2%

表 58_2 ある場合

N=94		
	N	%
専用である	39	41.5%
兼用で毎回運び入れる	22	23.4%
収納場所が狭い	19	20.2%
その他	5	5.3%

表 59 書籍や遊具購入などに使える予算

N=275		
	N	%
年間予算が組まれている	30	10.9%
必要時に申請する	191	69.5%
ない	26	9.5%

表 60 年間当たり金額

平均	90.5
SD	57.5
最小値	1
最大値	243

表 61 「不足している」と感じるもの

N=275		
	N	%
ある	87	31.6%
ない	110	40.0%

「不足している」と感じているものの内容

- ・ 部屋が狭い
- ・ DVD・TV
- ・ FAX
- ・ 職員の団結力、一体感
- ・ スーパーバイザー
- ・ スタッフの人数
- ・ 男女別更衣室
- ・ パソコン
- ・ 自転車・キックボード等
- ・ 自分自身の支援スキル
- ・ 書類保管場所
- ・ 遊具
- ・ 個室の居室
- ・ 時間
- ・ 当直用シャワールーム
- ・ 人手不足
- ・ 休憩室
- ・ 給与
- ・ 検査用具
- ・ 施設外からのスーパーバイズ機能
- ・ 本棚・書籍
- ・ 個室の面談スペース
- ・ 研修や外部施設等の見学の機会
- ・ 仕事用携帯電話
- ・ 相談室
- ・ 他施設との交流
- ・ 知育おもちゃ

表 62 現在、研修したい課題

N=275

	N	%			
			ホスピタリズム	19	6.9%
評価方法・ツール	57	20.7%	性教育プログラム	56	20.4%
見立て・理解の仕方	58	21.1%	トラウマワーク	30	10.9%
アセスメントの方法	53	19.3%	ターミナルケア	33	12.0%
日常生活への反映の仕方	36	13.1%	保護者との関係のつなぎ方	110	40.0%
アセスメントの視点	74	26.9%	保護者の精神疾患について	84	30.5%
関わり方・支援方法	107	38.9%	グループセラピー	14	5.1%
コミュニケーションの方法	86	31.3%	職員間連携	82	29.8%
療育内容	80	29.1%	地域連携	95	34.5%
問題行動	78	28.4%	社会資源	98	35.6%
人材育成の視点と方法	90	32.7%	研修の場の確保	32	11.6%
その他	14	5.1%			

その他内容

- ・ アンガー・マネジメント
- ・ グリーフケア
- ・ 家族支援
- ・ これからの子どもの療育のあり方、国の施策の方向性
- ・ 愛着障害
- ・ 医療的な知識
- ・ 虐待
- ・ 研修の場の情報
- ・ 護身術
- ・ 施設内虐待、児童の権利擁護
- ・ 重心に特化した個別支援計画の立案の例等
- ・ 生活スキルチェック等、現在一人一人生活がどこまでできるのか
- ・ 今後どこまでできるかの指標
- ・ 検査用具も大切だが生活の中での生活レベルのものが具体的なものがほしい
- ・ 法制度の活用
- ・ 医療保険

表 63 日々の悩み

N=275

	1 とても そう感じる		2 時々 そう感じる		3 感じない	
① やりがいがあるが、時間が足りない	108	39.3%	125	45.5%	33	12.0%
② 人材がたりない	136	49.5%	100	36.4%	30	10.9%
③ 子どもたちの悲惨な家族背景に精神的に苦痛になる	29	10.5%	169	61.5%	65	23.6%
④ メンタルヘルスを保つ時間が十分に確保できない	43	15.6%	134	48.7%	90	32.7%
⑤ 考えが合わないスタッフがいて苦痛を感じる	30	10.9%	135	49.1%	101	36.7%
⑥ 上司の理解が得られない	17	6.2%	107	38.9%	140	50.9%
⑦ 給料がみあっていない	42	15.3%	104	37.8%	118	42.9%
⑧ SW 職として理解されていない(他職種に)	33	12.0%	110	40.0%	110	40.0%
⑨ SW 職として理解されていない(他分野に勤める同職種に)	16	5.8%	99	36.0%	138	50.2%
⑩ 意図していることが、うまく伝わらない	18	6.5%	190	69.1%	57	20.7%
⑪ 病棟・生活棟全体の温度差に、どのような役割をとるか迷う	41	14.9%	155	56.4%	64	23.3%
⑫ 大事な会議に呼ばれないなど、疎外感を感じる時がある	10	3.6%	50	18.2%	200	72.7%
⑬ 面接の内容をどこまで開示してもよいか迷う	18	6.5%	134	48.7%	108	39.3%
⑭ 実質的な面接業務より、煩雑な事務仕事に追われている	90	32.7%	124	45.1%	46	16.7%
⑮ 研鑽の時間が取れない	65	23.6%	134	48.7%	61	22.2%
⑯ 即座に役立つ適切な文献が見つけれられない	34	12.4%	142	51.6%	82	29.8%
⑰ 必要な時に手がかりや助言が得られない	26	9.5%	141	51.3%	99	36.0%
⑱ 勉強してきたことが活かさない	11	4.0%	116	42.2%	133	48.4%
⑲ SW 職としてのアイデンティティーを感じられない	23	8.4%	113	41.1%	118	42.9%

・ その他、感じていることなど（自由記述）－未集計

平成 29 年度研究の作業として、今回「集計中」とした個人票での自由記載の内容を含めて、さらに集計分析を行い、8 月の中間報告と年度末の報告にまとめる予定である。